

平成28年熊本地震に便乗した 義援金等名目の詐欺に御注意ください!!

● 震災義援金に絡む詐欺事件の事例

この度の平成28年熊本地震に関し、今後、国民の不安や被災者を救済しようとする善意につけ込み、義援金などと称して現金を口座に振り込ませようとする詐欺事案が発生するおそれがあります。東日本大震災の際にも、義援金の募金等に便乗した詐欺等の発生がありましたので、その際の事例を紹介します。



～ 事例 ～

- 実在する団体の名称をかたって、「災害支援基金への寄付をお願いします」等という文面のファックスを送信し、団体が設けた募金振込口座とは異なる個人名の口座に振り込ませようとした。
- 公的機関と紛らわしい名称をかたって電話をかけ、「避難地確保のため寄付して下さい」等と言って振り込ませようとした。
- 市役所職員を名乗って電話をかけ、「震災の義援金を送る活動をしている。支払い方法は振込みです」等と言って、振り込ませようとした。
- 市役所職員を装って家庭を訪問し、募金を求めた。
- マンション管理会社を装って家庭を訪問し、「地震に耐えられるようにブレーカーの工事が必要です」等と言って現金の支払いを求めた。
- 貴金属会社の社員を装って家庭を訪問し、「被災者に大至急お金を送ってやりたいから、換金しやすい貴金属を集めている。いらぬ貴金属をいただけないでしょうか」等と言って、貴金属を要求した。

● 被害に遭わないために！

- 公的機関が、一般家庭等に対して、個別に電話、訪問等で義援金等の振込や募金を求めることは基本的にありません。
実在する団体等を名乗って個別の働きかけがあった場合は、相手が告げた機関・団体等の電話番号を電話帳等で確認して下さい。



※ この資料は、長崎県警ホームページにも公開しています。
御覧になられた方は、御家族や御友人等にもお伝え下さい。